

慶應義塾ニューヨーク学院(高等部)

Q&A

慶應義塾ニューヨーク学院(高等部)
3 College Road, Purchase, NY 10577
お問い合わせ先: keiony@keio.edu
www.keio.edu

慶應義塾ニューヨーク学院(高等部)に関する Q & A

目 次

- ★ 学校生活について …… 1
- ★ 寮生活・通学について …… 3
- ★ 卒業後の進路について …… 4
- ★ 出願資格について …… 4
- ★ 入学試験について …… 5
- ★ 出願書類について …… 9
- ★ 学費について …… 11
- ★ その他…… 12

資料 1 カリキュラム

資料 2 成績の基準

資料 3 課外活動

資料 4 卒業後の進路

資料 5 2010年度入試概要

慶應義塾ニューヨーク学院(高等部)に関するQ&A

★ 学校生活について

Q1 新学期開始はいつですか？

A. ニューヨーク学院は9月に新学期が始まります。9月～1月までの前期と、2月～6月までの後期の2期制です。

Q2 学級数・生徒数はどのくらいですか？

A. 9学年(中3)2クラス、10～12学年(高1～高3)各学年4クラスです。1クラスの生徒数は約30人です。

<生徒数>

2009年度	9学年	10-12学年	合計
生徒数	45(19)名	290(121)名	335(140)名

* ()は女子で内数
2009年9月1日現在数

Q3 教職員はどのくらいいますか？

A.

<教職員数>

	専任	*派遣	非常勤	合計
教員	36人(18)	11人	9人(7)	45人
職員	28人(21)	2人	11人(6)	39人
合計	64人	13人	20人	84人

()は内数で日本語を主に話す教職員数
*合計数に含まれる
2009年6月1日現在数

Q4 授業は英語のみで行われるのですか？

A. 科目により、英語と日本語の両方の授業があります。現在全科目のうち7割の科目が英語で行われています。また日英両語のいずれかが不十分な生徒に対しては、ESL(English as a Second Language) および Nihongo の授業が各生徒の語学能力向上のために設けられています。カリキュラムについては資料1をご参照ください。

Q5 日本からの入学生やAO入試の生徒が英語で行われる授業についていけるでしょうか。

A. 入学試験終了後から入学までには時間がありますので、英語または日本語の語学力の上達を図るにあたり適当な勉強をされることをお勧めいたします。合格後、ニューヨーク学院カウンセラーが語学勉強を含めた入学までの準備についてアドバイスをさせていただくことも可能です。

Q6 生活面でどの程度の英会話力が必要なのですか？

A. 生徒のほとんどは日本人ですが、学院教職員の7割強はアメリカ人です。また、Q4にもあるように、7割の授業が英語で行われますので、日常的なコミュニケーションに支障がないレベルの英会話力は必要です。

Q7 日常生活において日本人同士が日本語で生活してしまうことで、英語力が伸びなくなるということはありませんか？

A. 寮生活全般に関して言える事ですが、親元を離れ寮生活をするにあたり、生徒の自立心および積極性が大切になります。ほぼ全ての生徒が日本語を母国語としている現状で生活するわけですから、積極的にスポーツや課外活動に参加し、現地校の生徒と接触する機会を増やす努力をする必要はあります。また、現地校との文化交流など学院側でもその様な機会をなるべく多く提供するようにしています。

Q8 標準的なカリキュラムがありますか？選択制、単位制が通常ですが、学年制で進むのが通常なのでしょうか？

A. 学年制で進みます。12学年では医学部、理工学部又は薬学部に進学を希望している生徒は理数系のコースを履修する必要があります。カリキュラム詳細は資料1をご参照ください。

Q9 成績はどのような基準になっているのでしょうか？

A. 資料2をご参照ください。

Q10 課外活動にはどのような活動がありますか？

A. 生徒の80%強が運動部に所属しています。(資料3を参照してください。)生徒会、寮委員会の他に、文化交流委員会(現地校訪問などを企画)、広報委員会(生徒新聞などを発行)、福澤諭吉研究会、茶道部、ロックバンド部、ボランティア部、釣部、写真部、ダンス部、放送部、コーラス部、オーケストラ部、ブラスバンド部、など多数のクラブまたは委員会があります。

Q11 クラブ活動とは別にピアノなどのお稽古事の個人指導は受けられるのでしょうか？

A. 個人的に家庭教師や楽器の指導をしてくださる方をアレンジするのは可能ですが、学院の施設を使う場合は学院に登録する必要があります。

Q12 在学中に両親が日本に帰国することになった場合、日本の併設校に編入できますか？

A. 併設校への編入制度はありません。ご両親が帰国される場合には、生徒は寮に滞在できます。

★ 寮生活・通学について

Q13 寮には必ず入らなくてはいけないのでしょうか？

- A. 全寮制ではありませんので通学生もおります。自宅通学が困難な生徒を対象に寮を併設しており、現在全校生徒の約9割が寮を利用しています。

Q14 近隣に住んでいますが、入寮を申し込むことは出来ますか。

- A. 入寮許可については、保護者が遠方に住んでいる生徒を優先して決定いたしますので、NY学院周辺にお住いの方で、学院が通学可能と判断した場合は、原則として入寮をお断りすることになりますのでご了承下さい。

Q15 寮は何人部屋ですか？

- A. 寮は2人部屋です。

Q16 寮で同室になる人はどのように決めているのですか？

- A. 新生は学院側で決めます。在学生の場合は生徒さんに提出していただくルームメイト希望書をもとに学院側が決めます。

Q17 寮生活では外出は許可されますか？

- A. 平日の外出は特別な許可があれば認められます。また週末の日中は、ホワイトプレーンズやハリソンなど学院で定められた地域であれば引率者なしで出かけることができます。11・12年生は事前に保護者の許可を受けた上で引率者なしでマンハッタンに行くことができます。他に学院では、スキー教室・美術館や博物館での課外授業・芸術鑑賞・買い物等のフィールド・トリップを行っています。

Q18 寮ではどのようなスタッフがケアしているのですか？

- A. 各フロアに寮監が1名(夫婦の場合もあります)。
保健室は平日は7:30～22:30、土日は12:00～19:00 まで開室しています。

Q19 寮では身の回りのこと(クリーニング・部屋の掃除)はどうなるのでしょうか？自分たちでするのでしょうか？

- A. 各自の部屋の掃除は本人たちで、また、廊下やシャワールーム等共有する場所は専門のクリーナーが掃除します。洗濯は生徒たちが使用できるコインランドリー(洗濯機・乾燥機)が寮内にあります。週末買い物の際、近辺のドライクリーニング店を利用することもできます。

Q20 通学生はどのように通学しているのでしょうか？

- A. 規定により、学院専用のスクールバスもしくは地域スクールバスで通学しています。特例で保護者の運転による自家用車通学を認める場合もあります。学院専用のスクールバスは、2009年度はCos Cob, Greenwich, Old Greenwich, Ryeの地域で運行しております。(運行地域等は変更になる可能性がありますので、詳細はニューヨーク学院事務室までお問い合わせ下さい)

★ 卒業後の進路について

Q21 卒業後はどのような資格が得られますか？

A. ニューヨーク学院は在外教育施設として日本の文部科学省の指定校であると共に、米国ニューヨーク州 教育評議委員会より教育法人としての認可を受けているので、卒業後は日本・米国両方の高校の卒業資格が得られます。つまり、卒業後は日本・米国どちらの大学にも進学可能です。

Q22 卒業後は慶應義塾大学に進学できるのでしょうか？

A. ニューヨーク学院の卒業生は学院長の推薦のもと、慶應義塾大学に進学することができます。

Q23 慶應義塾大学に進学した場合は、希望の学部に進学することができるのでしょうか？

A. 学部の選択は自由ですが、決定にあたっては成績等が勘案されます。

Q24 卒業後の主な進路はどのようになっていますか？

A. 資料4をご参照ください。

Q25 慶應義塾大学に進学する場合、6月に卒業した後、9月入学出来る学部はどの学部ですか。

A. 慶應義塾大学では法学部、総合政策学部・環境情報学部の3学部で9月入学を実施しています。

★ 出願資格について(一般入試・AO入試共通)

第9学年に出願できる者は、学院に入学を志願する前年の12月末日現在、日本国内または日本国外の学校(日本人学校を含む)で学校教育の8年目の課程に在籍し、学院に入学を志願する年の8月末日までに同課程を修了していること。

* 8年目の課程とは、日本の中学2年生の課程に相当します。

第10学年に出願できる者は、学院に入学を志願する前年の12月末日現在、日本国内または日本国外の学校(日本人学校を含む)で学校教育の9年目または10年目の課程に在籍し、学院に入学を志願する年の8月末日までに同課程を修了していること。

* 9年目の課程とは、日本の中学3年生の課程に相当します。

1 居住地について

Q26 居住地はアメリカ国内でなければいけませんか？

A. いいえ、居住地は問いません。

Q27 現在は日本在住ですが、受験はできるのでしょうか。

A. はい、できます。

Q28 入学者はどのような国から受験していますか？

A. 入学者は世界30カ国から来ています。過去数年の入学者の出身国は以下の通りです。
オーストラリア、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、韓国、マレーシア、メキシコ、中国、英国、キューバ、フィリピン、ベネズエラ、南アフリカ共和国、タイ、ニュージーランド、ルクセンブルク、インドネシア、ロシア、米国、日本、ロシア、ルーマニア、ウクライナ、パキスタン、インド、スイス、デンマーク、チェコ、スペイン、シンガポール、アルゼンチン、グアテマラ、トルコ、アラブ首長国連邦、ケニア

2 居住形態

Q29 両親そろって国外に居住していなければいけないのでしょうか？

- A. いいえ、受験生の居住形態は問いません。受験生が単身で海外留学などをしていても出願資格はあります。また居住地も問わないため受験生が両親と同居せずに日本の学校に通学している場合も出願資格はあります。

3 居住地の学校

Q30 インターナショナルスクールに通っていますが、出願資格になりますか？

- A. 所定の学年を修了(または修了見込み)すれば出願できます。

Q31 日本人学校の出身は出願資格になるのでしょうか？

- A. 所定の学年を修了(または修了見込み)すれば出願できます。

Q32 日本の文部科学省で認定されている私立在外教育施設に在籍していますが、出願資格になりますか？

- A. 所定の学年を修了(または修了見込み)すれば出願できます。

Q33 11年生以上の学年からの編入や学期の中途での編入の機会はありませんか？

- A. ありません。

4 再受験について

Q34 今年第9学年を受験して不合格だったので、別の学校に入学して、来年第10学年を受験したいのですが受験できますか？

- A. 別の学校で第9学年を修了見込みまたは修了であれば受験できます。

Q35 一度AO入試または一般入試を不合格となった場合、同じ年の再受験はできますか。

- A. 募集要項の受験資格を満たしている限り受験できます。2度のAO入試、1度の一般入試、最大で3回受験できることとなります。

Q36 保証人、紹介者は必要ですか？

- A. 入学試験を受験される時点では紹介者などは一切必要ありません。

★入学試験について

入学試験には一般入試とAO入試があります。詳しくは資料5をご参照ください。

	募集人数	時期と回数	選抜方法
一般入試	一般、AO入試あわせて各学年60名	年に1回:3月に試験	国語・英語・数学の筆記試験・面接
AO入試	一般、AO入試あわせて各学年60名	年に2回:(秋季・春季)12月と6月に試験	書類選考・英語及び日本語の小論文・面接

<一般入試について>

Q37 一般入試の選考はどのように行われていますか？

A. 入学試験時に行われる筆記試験(国語、英語、数学)と面接の他、提出された書類(成績、推薦状等)を加えた総合評価で決定されます。

Q38 偏差値はいくつでしょうか？

A. ニューヨーク学院の筆記試験は国語、英語、数学の試験、面接や提出書類を加えた総合評価をいたしますので、日本の学校の基準である偏差値はありません。

Q39 合格最低点などの基準はありますか？

A. いわゆる「足きり」のような合格最低点などの基準はありません。

Q40 過去の問題集はありますか？

A. ニューヨーク学院の入試問題集はありません。過去3年間の入試試験問題が学院ホームページでダウンロードできます。

Q41 どの程度の英語能力が要求されますか？

A. 英語での日常会話が可能であること。授業の70パーセントが英語で行われますので、英検2級または同等のレベルを取得していただく事をお奨め致します。

Q42 英検およびTOEFL・TOEICのどの位のグレードならよろしいでしょうか。

A. 英検2級または同等レベルを取得していることをお奨めいたします。ニューヨーク学院卒業時までにはTOEFL550点以上を目標としてください。

Q43 英語の試験は英和辞典の持ち込みはいけないのでしょうか？

A. 筆記試験に参考書や辞典の持ち込みは一切禁止しています。

Q44 日本から受験したいのですが、日本からは何名くらい入学を許可する予定ですか？

A. 国別の入学者枠は設けていません。

Q45 日本からの出願者の試験問題は別にあるのですか？

A. 日本から受験される志願者も海外から受験される志願者も試験の内容は同じです。

Q46 日本の英語教育で得られる程度の英語力でも入試の問題には対応できるのですか？帰国生でもなく英語の特別な教育を受けたわけでもないごくふつうの中学の英語教育しか受けておりませんが、入学は可能でしょうか？

A. 2000年度入試で受験資格の規程を一部変更し、日本に居住されている生徒も入学試験を受験できるようになりました。その結果、2000年度新入生より日本の学校又は海外の日本人学校に在籍していた生徒(日本の教育を受けていた生徒)もおります。日本の教育を受けている生徒でも、合格の可能性は十分ありますので、入学試験だけではなく入学後の学校生活に備えての英語力を身につける努力をしてください。詳しくはQ57の入試状況をご参照下さい。

<AO入試について>

Q47 どのような生徒が対象となるのですか？

A. AO入試では単に一面的に学業だけで志願者の資質を判断するのではなく、志願者個々人の優れた才能や能力で多面的に判断して選考します。例えば、芸術やスポーツで顕著な成績をあげている、あるいはボランティア活動に熱心に参加してきたなど当学院での学生生活を活性化できる才能を求めています。

Q48 AO入試の自己PRのポイントは何ですか？

A. AO入試は書類選考がありますので自己アピールの資料が重要です。AO入試は学院が基準を設定する訳ではなく、受験生自身が「この様な基準で受験したい」と自己アピールする試験です。ご自身が得意なこと、努力してきたことなど、積極的に日本語と英語とでアピールしてください。

Q49 AO入試の英語、日本語の小論文の時間配分を教えてください。

A. 各60分です。

Q50 AO入試筆記試験の過去の試験問題を入手したいのですが？

B. 過去2年間の入試試験問題が学院ホームページでダウンロードできます。

<一般入試・AO入試共通事項について>

Q51 試験会場はどこですか？

A. AO入試の二次選考については、ニューヨーク学院のほかに東京(慶應義塾大学三田キャンパス)でも行います。一般入試については、ニューヨーク学院だけで行われます。

Q52 日本で一般入試が実施される予定はないのでしょうか？

A. 検討中です。

Q53 面接はどのようにして行われますか？

A. 以下の3種類の面接を実施しています。(各10～15分程度)

- ①志願者と英語での面接
- ②志願者と日本語での面接
- ③志願者及び志願者の親権者との面接

Q54 仕事の都合で父親が面接に行かれないのですが、認められませんか？

A. 面接で両親がそろっていなくても、試験の合否には影響はありません。

Q55 面接はどのような服装で臨むべきでしょうか？

A. 面接に適した服装でお願いいたします。

Q56 面接ではどのようなことが質問されるのでしょうか？

A. 面接は本人の特性・将来性を理解するために実施しているので、その目的に沿った質問をします。

Q57 入試倍率はどのくらいですか？また、日本からの受験者はどのくらいいるのでしょうか？
 <2008年度/2009年度入試状況>

	学 年	募集数 (A)	年度	出願者数 (B)	日 本	受験者数 (C)	日 本	合格者数 (D)	日 本	合格手続数 (E)	日 本	競争率 (C/D)
一般入試	第9学年	一般入試 AO入試 あわせて 各学年 60名	2008	26 (12)	12	26 (12)	12	21 (11)	9	20 (10)	9	1.2
			2009	24 (10)	13	24 (10)	13	15 (6)	5	15 (6)	5	1.6
	第10学年		2008	32 (12)	23	26 (11)	18	21 (9)	14	21 (9)	14	1.2
			2009	35 (14)	21	29 (13)	18	16 (7)	8	15 (7)	8	1.8
秋季 AO 入試	第9学年		2008	26 (9)	7	26 (9)	7	17 (6)	5	17 (6)	5	1.5
			2009	26 (7)	11	25 (7)	11	21 (6)	8	20 (6)	8	1.2
	第10学年		2008	39 (15)	22	39 (15)	22	18 (6)	8	17 (5)	7	2.2
			2009	53 (25)	29	53 (25)	29	41 (22)	23	41 (22)	23	1.3
春季 AO 入試	第9学年		2008	10 (4)	5	10 (4)	5	9 (4)	4	9 (4)	4	1.1
			2009	14 (7)	9	14 (7)	9	5 (5)	4	5 (5)	4	2.8
	第10学年		2008	15 (7)	9	14 (6)	8	12 (5)	7	12 (5)	7	1.2
			2009	14 (4)	9	14 (4)	9	9 (3)	4	8 (3)	3	1.6

* ()は女子で内数

* 日本の欄は日本からの受験生で内数

★ 出願書類について

<一般入試・AO入試共通>

Q58 英検2級を取得していないと合格できないのでしょうか？

- A. 本校の授業は約70パーセントが英語で行われますので、英語力をつけておいていただきたいという趣旨で英検2級または同等レベルを取得していることをお奨めしていますが、2級を取得していないと合格しないということはありません。合否判定は総合的な評価に基づいて行われます。

Q59 2009年度から英検2級以上の取得が受験資格となるのでしょうか？

- A. 学校説明会等でその予定であるということをお伝えしていましたが、その後の検討の結果、入学当初は英語が苦手でも、学年が進むにつれて好成績を収める生徒も多数いることから、英検2級取得を受験資格とすることはしないことに決定いたしました。

Q60 出願の時期には日本に親類がいないので、日本の学校の成績証明書は事前に取得しておいてもよいのでしょうか？

- A. 成績の管理者が署名し、厳封されているもの(オリジナル)であれば構いません。

Q61 これから海外に赴任するのですが、日本の中学校の推薦状をもらっておいたほうがよいでしょうか？

- A. 赴任先の学校の先生がその生徒の推薦状を書けるならばその先生から書いてもらってください。推薦状を書けないならば、書けない理由(在籍期間が短かすぎて生徒自身のことを教員が十分に把握していないなど)を添えて、日本の学校の先生で生徒のことをよく知っている方に書いてもらってください。

Q62 「推薦状は所定用紙で提出」となっていますが、所定の用紙が変更になったとしても、赴任する時点での所定用紙で認められるのでしょうか。

- A. 推薦状を書いてもらう時点で記入事項が満たされていれば、所定の用紙でなくても構いません。赴任時に書いてもらった推薦状で結構です。

Q63 学校の成績が絶対評価で決まるため、成績評価書の「成績順位」「上位何%」の欄に記入できません。どうしたらよいでしょうか。

- A. 「成績順位」「上位何%」「所見」については、学力を総合的に判断するために記入をお願いしています。ただし、どうしても記入が難しい項目がある場合は、その旨を成績評価書に明記していただき、他の項目についてはできる限り詳しく記入していただけるよう、学校側に依頼してください。

Q64 調査書、内申書の参考度はどのくらいですか？

- A. 一般入試では、成績表等の書類、筆記試験と面接の結果を含む総合評価をもとに選考を行いません。そのため成績表上で取得していなければいけない最低限レベルなどは設定しておりません。AO入試では、第一次選考で書類審査を、そして第一次選考合格者のみに第二次選考(筆記及び面接)を行いません。

Q65 出願書類はどのように送ったらよいのでしょうか？

- A. 必ず郵便局のEMS(Express Mail) または DHLやFedEx等のクーリエ便など、学院側が書類を受理したことを確認できる方法で発送してください。NY在住の場合でもNYの郵便局からExpress Mailでお送りください。

Q66 送った書類がニューヨーク学院で受理されたかはどのように確認すればよいですか？

- A. EMSやクーリエ便でお送りいただいた書類のTracking Number(追跡番号)を元に郵便局やDHL等のウェブサイトにて書類追跡及び受理の確認を取ることができます。直接ニューヨーク学院にお問い合わせいただいても一日で受理する書類が数多くあるため即答することができません。よって、

各自で以上の方法で確認を取られる事をお勧めいたします。なお、選考書類に不備がある場合、または必要書類がすべて受理された場合、入試事務室より書面にて連絡させていただきます。

Q67 10年生を受験したいのですが、高校に入学したばかりで、推薦状を書いてもらうのが難しいのですが。また、成績証明書は必要でしょうか？

A. 基本的には提出していただきますがやむをえない事情がある場合には個別にニューヨーク学院入試事務室にご相談ください。

Q68 選考料はどのように送ればいいのでしょうか？

A. 銀行で「小切手(サーティファイド・チェック)」、「銀行振出小切手(バンク・チェック)」または郵便局で「国際郵便小切手(インターナショナル・ポスタル・マネーオーダー)」を選考料の金額を額面として作成してください。小さな支店や支局の窓口では、取り扱いができない場合もあります。その場合には本店や本局など国際送金を取り扱う窓口をご利用ください。作成した小切手は出願書類に同封してください。日本からの出願の場合、国際郵便小切手であれば、郵便局で作成し、そのまま出願書類と一緒にEMS(国際スピード郵便)で発送することができます。便利です。

なお、国際郵便小切手作成時には、日本人の場合免許証か健康保険証、外国人の場合外国人登録証が必要になります。また小切手1枚あたりの上限金額は\$700、1日の作成の上限\$69,300(金額は為替により変動あり)です。

Q69 新入生対象の奨学金はあるのでしょうか。

A. あります。詳細は入学手続き後にお知らせいたします。

*** ニューヨーク学院からのお願い**

・ここ数年、応募書類提出期日ぎりぎりに応募書類を発送する方が増えています。この様な場合にもし書類不備が確認されますと指摘された書類を期日内に学院に提出できない可能性があります。期日までに応募に必要な書類を学院が受理しない限り、その志願者に対する選考は行いませんのでご注意ください。
・募集要項は必ず熟読してください。必要書類によっては記入形式が「英語または日本語」どちらかの場合と「英語および日本語」両方が必要な場合があります。Careless mistakeが無いよう十分気を付けてください。

★ 学費について

Q70 年間の学費を教えてください。

A. 2009年度実績

	項 目	寮 生	通学生
1	入学金	\$3,700	
2	授業料	\$21,500	
3	寮費	\$11,500	
4	昼食費		\$2,150
*5	スクールバス費		\$6,500
6	教材等預り金(一般)(医療保険代込み)	\$1,600	
7	電話使用料預り金	\$500	
8	施設費	\$1,150	
9	Parent's Association 会費	\$70	

<参考>

10	プリアントリー・プログラム費	\$1,600	
11	入学検定料	\$500	

*5 地域スクールバスで通学できる場合は不要

<初年度年間学費>

寮 生合計 (1~3、6~9) \$40,020

通学生(学院専用スクールバス利用の場合)

合計 (1・2・4・5・6・8・9) \$36,670

通学生(地域スクールバス利用の場合)合計(1・2・4・6・8・9) \$30,170

★ その他

Q71 9月に学院に入学するまでの期間、日本において英語等のプログラムはありますか。また個人的にはどのように過ごせば良いでしょうか。アドバイスがあれば教えてください。

- A. 第10学年入学予定者の方は入学にあたり語学能力の上達やアメリカのボーディングスクールの生活の経験を希望される場合、合格後学院カウンセラーにご相談ください。適切な英語の勉強方法などを紹介させていただきます。また、ビザの関係上、プリアントリー前に語学研修などのために米国の学校に入らないでください。

なお、第9学年に入学予定の方は義務教育期間中となりますので、公立中学校などの学校に在籍する必要があります。また、第10学年に入学予定の方で飛び級をしている場合は、学院入学までの期間の過ごし方について居住地の教育機関にご相談ください。

Q72 アメリカでの留学は、ビザが必要と聞きました。学院に入学する場合、日本の学校なので、ビザは必要ありませんか？

- A. 当学院は、アメリカ合衆国にある政府認可の学校です。従って、アメリカ国籍や永住権を持っていない入学予定者は、入学決定次第、最寄りのアメリカ大使館や領事館で学生ビザ(F-1)を取得する必要があります。また、現在保護者と一緒にアメリカに滞在している入学予定者は、ビザの変更なく合法的に学院に入学することができます。

Q73 実際に学校の様子を見学したいのですが、見学会などはありますか？また個別の見学は受け付けていますか？

- A. 11月に行われるオープンハウス、4月の祥風祭(学院祭)はご参加いただけます。詳しくは学院ウェブサイトをご覧ください。
- B. また希望者には見学を受け付けていますので、見学申込書にご記入の上、希望日の1週間前までにE-mailにてお送り下さい。(E-mail : keiony@keio.edu) 見学申込書はwww.keio.eduよりダウンロードすることが出来ます。なお、見学は平日(月一金)となります。日本の春休み、お盆休みにかけては、混雑して予約が取れない場合がありますのでご了承ください。

以上

<<最新の情報、詳細については学院ウェブサイトをご覧ください。>>

<http://www.keio.edu>

お問い合わせ先:

<米国>慶應義塾ニューヨーク学院(高等部)入試事務室
TEL : 914-694-4825 FAX : 914-694-4830 E-mail : keiony@keio.edu

資料配布先:

<米国>慶應義塾ニューヨーク学院(高等部)入試事務室
TEL : 914-694-4825 FAX : 914-694-4830 E-mail : keiony@keio.edu

<日本>慶應義塾 一貫教育支援センター
TEL : 03-5427-1711 FAX : 03-5441-7640

資料1 2009-2010 Courses and Credits (Grade 9 - 12)

06/18/2009

The elective courses might be canceled if the number of registered students is too small.

SUBJECT	教科	LANGUAGE 授業言語	9 th			10 th			11 th				12 th			
			R.	R.E.	A.	R.	R.E.	A.	R.	R.E.	A.	E.	R.	R.E.	E.	
KOKUGO		国語														
Kokugo 9,10,11,12	国語 9,10,11,12	J	5			5			5					5		
SOCIAL STUDIES		社会														
Global Geography	世界地理	E	4													
World/Japanese History	世界史/日本史	E/J			4											
U.S. History and Government	アメリカ史と政治	E						4								
Social Studies A	日本近現代史	J												4		
Modern Japanese History																
Social Studies B	公民	J														4
Japanese Civics and Philosophy																
Social Studies C	経済	E														
Economics																
Social Studies D	政治 (上級)	E												1)4		
Honors Politics																
Social Studies D-1	政治	E														
Politics																
Social Studies E	地域研究	E														
Area Studies Research																
MATHEMATICS		数学														
Algebra and Geometry	代数と幾何	J	4													
Algebra and Trigonometry	代数と三角関数	E/J			4											
Precalculus	基礎解析	E/J						4								
Advanced Problem Solving	上級問題解法演習	E											1			
Advanced Calculus & Linear Algebra for Science Majors	微積分. 線形代数(理系)	J													2)6	
Calculus	微積分 (文系)	J												1)4		
Linear Algebra for Non-Science Majors	線形代数 (文系)	J														1)4
SCIENCE		理科														
Biology	生物	E	5													
Chemistry	化学	E			5											
Physics	物理	E/J						5								
Honor Biology	生物 (上級)	E												2) 5		1)5
Honor Physics	物理 (上級)	J												2)		1)5
Honor Chemistry	化学 (上級)	E												2)6		1)6
Environmental Science	環境科学	E														1)4
General Biology 11	選択生物	E											5			
ENGLISH		英語														
English 9,10,11,12	英語 9,10,11,12	E	8			4			4					4		
Drama	ドラマ	E											4			1)4
Creative Writing	ライティング	E											4			1)4

SUBJECT	教科	LANGUAGE 授業言語	9 th			10 th			11 th				12 th		
			R.	R.E.	A.	R.	R.E.	A.	R.	R.E.	A.	E.	R.	R.E.	E.

ESL & LANGUAGE ARTS **ESL & ランゲージアート**

Language Arts 10,11,12	ランゲージアート10,11,12	E						*4			*4						1)4
ESL 10	ESL 10	E						*4									
Oral Communication 9	オーラル コミュニケーション9 & スタディスキルズ	E						*4									
Oral Communication 10	オーラル コミュニケーション 10	E						*2									

NIHONGO **日本語**

Nihongo 9,10,11	日本語9, 10, 11	J						*4			*4			*4			
-----------------	--------------	---	--	--	--	--	--	----	--	--	----	--	--	----	--	--	--

PHYSICAL EDUCATION & HEALTH SCIENCE **保健体育**

PE 9,10,11,12	体育9,10,11,12	E	2				2				3					4	
Health Science	保健	E					2										

CROSS-CULTURE • COMPUTER **異文化理解・コンピュータ**

Computer Literacy	コンピュータ	J					2										
Area Studies	異文化理解	E									2						

MUSIC • ART **音楽・美術**

Music 9,10,11	音楽9, 10, 11	E/J	1					2			2						
Music 12 (Band)	音楽12(バンド)	E															1)2
Music 12 (Chorus)	音楽12(コーラス)	J															1)2
Fine Art 9,10,11,12	美術9, 10, 11, 12	E	1					2			2						1)2
Art History & Artist/Cultural Studies	美術史	E													2		1)2

FOREIGN LANGUAGE **外国語**

French I (Elem.)	フランス語(初級)	E												4			1)4
French II (Inter)	フランス語(中級)	E												4			1)4
Spanish I (Elem.)	スペイン語(初級)	E												4			1)4
Spanish II (Inter)	スペイン語(中級)	E												4			1)4

30	0	2-4	28	2	2-4	27	2	0-4	0-5		1)21	4	6-9
											2)17	15	0
32-34			32-34			29-34			1)31-34 2)34				

Note:

R. = Required (必修科目)

R.E. = Required Elective (必修選択科目)

E. = Elective (選択科目)

A. = Assigned (指定科目)

"One (1) Credit" = 45 minute period per week for 35 weeks (45分/週、35週間)

* = Students will be assigned: 1) Non-Science Major (文系) 2) Science Major (理系)

There is no course in Pass/Fail grade in 2009-2010.

There are also non-credit courses available to the 11th graders

資料 2

成績評価 Marking System

A+	98 - 100	C+	77 - 79	F	0 - 59
A	94 - 97	C	73 - 76	P	Pass
A-	90 - 93	C-	70 - 72		
B+	87 - 89	D+	67 - 69	Fは不合格	
B	83 - 86	D	63 - 66		
B-	80 - 82	D-	60 - 62		

GPA(学業平均値)

GPAは、履修したすべての科目の評価に基づき、次のように計算される。

$$\text{GPA} = (\text{G1R1} + \text{G2R2} + \text{G3R3} + \dots) \div \text{T}$$

G:各科目の成績から換算される得点(注1)

R:各科目のクレジット

T:履修した総クレジット数

ただし、Pass/Fail科目:G(各科目の成績から換算される得点)は常に0であるが、Passの場合には、T(履修した総クレジット数)からその科目のクレジットを引いて、また、Failの場合には、Tに含めて計算する。

注1.

	<u>Elementary</u>	<u>Intermediate</u>	<u>Advance/Honors/AP</u>
A+	3.50	4.00	4.50
A	3.25	3.75	4.25
A-	3.00	3.50	4.00
B+	2.75	3.25	3.75
B	2.50	3.00	3.50
B-	2.25	2.75	3.25
C+	2.00	2.50	3.00
C	1.75	2.25	2.75
C-	1.50	2.00	2.50
D+	1.25	1.75	2.25
D	1.00	1.50	2.00
D-	0.75	1.25	1.75
F	0	0	0
S*	0	0	0

*S=Summer Make-up Credits. GPAへの換算は0点として計算。ただし、単位は取得した物とする。

資料 3

Interscholastic Programs by Season

Fall

Boys

Varsity Cross Country
Varsity Soccer
Junior Varsity Soccer

Girls

Varsity Cross Country
Varsity Swimming
Varsity Tennis
Junior Varsity Tennis
Varsity Volleyball
Junior Varsity Volleyball

Winter

Boys

Varsity Basketball
Junior Varsity Basketball
Varsity Swimming

Girls

Varsity Basketball
Junior Varsity Basketball

Spring

Boys

Varsity Baseball
Varsity Golf
Varsity Rugby
Varsity Tennis
Junior Varsity Tennis
Coed Varsity Golf

Girls

Varsity Lacrosse
Varsity Soccer
Varsity Softball

Club Programs

Co-ed Judo (year round)
Co-ed Karate (year round)
Co-ed Kendo (year round)

資料4 ニューヨーク学院卒業生進路状況

卒業		2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
大学・学部・学科							
慶 應 義 塾 大 学	文学部	6 (3)	2 -	7 (5)	9 (6)	10 (3)	2 (1)
	経済学部	26 (7)	26 (9)	27 (5)	30 (11)	30 (10)	29 (4)
	法学部 法律学科	10 (4)	10 (1)	10 (4)	10 (5)	10 (4)	10 (3)
	政治学科	10 (3)	10 (7)	10 (6)	10 (2)	10 (7)	10 (7)
	商学部	11 (3)	8 (2)	8 (4)	14 (4)	15 (8)	14 (3)
	医学部	1 -	1 -	2 -	2 (2)	1 -	2 (2)
	理工学部	9 (2)	9 (3)	7 (1)	7 (3)	5 (1)	4 (2)
	総合政策学部	5 (2)	11 (5)	6 (3)	5 (1)	11 (5)	1 -
	環境情報学部	14 (7)	15 (5)	16 (5)	8 (2)	13 (2)	9 (3)
	看護医療学部	1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	-	1 (1)
	薬学部薬科学科				-	-	
	薬学部薬学科				-	2 (1)	1 (1)
計		93 (32)	93 (33)	95 (35)	97 (35)	107 (41)	83 (27)
(推薦辞退者)		-	1 (1)	-	1 -	0	1 -
Art Institute of Chicago							
Brown University,USA							
College of Mexico,Mexico							
Vocational School,USA							
New York University,USA							
Pratt Institute							
State University of New York,Geneseo							
Soka University of America							
The University of St. Andrews,UK			1 (1)				
Other							
卒業生数計		93 (32)	94 (34)	95 (35)	98 (35)	107 (41)	84 (27)

注)

1. 卒業月は6月、()内は女子で内数。
2. 総合政策学部、環境情報学部の2学部は卒業した年の9月入学。その他は、翌年4月。
ただし、2008年度卒業生から法学部の9月入学も認めている(法学部は9月または4月入学)
3. 薬学部は2008年4月開設。(2007年度卒業生より入学可)

慶應義塾ニューヨーク学院(高等部)2010 年度入学試験概要

募集人員 AO 入試(秋季・春季)と一般入試 あわせて

第 9 学年(中学3年)、第 10 学年(高校 1 年)各学年 約 60 名

<一般入試>

募集学年:第 9 学年(中学3年)、第 10 学年(高校 1 年)

出願期間:2009 年 12 月 1 日(火)~2010 年 1 月 22 日(金)(必着)郵送のみ受付

試験日:2010 年 2 月 27 日(土)(筆記試験)

2 月 28 日(日)~3 月 2 日(火)(面接 半日指定)

合格発表発送日:2010 年 3 月 15 日(月)

要項配布:2009 年 10 月下旬配布

選抜方法:

- ・筆記試験(英語・国語・数学)
- ・面接 = 本人(英語と日本語)ならびに本人および保護者(親権者)

<AO 入試> 秋と春の 2 回実施されます

秋季AO入試

募集学年:第 9 学年(中学3年)、第 10 学年(高校 1 年)

出願期間:2009 年 9 月 1 日(火)~2009 年 9 月 30 日(水)(必着)郵送のみ受付

一次結果通知発送日:2009 年 10 月 22 日(木)

試験日:2009 年 12 月 5 日(土)・6 日(日)(二次選考)

合格発表発送日:2009 年 12 月 15 日(火)

要項配布:2009 年 8 月配布

春季AO入試

募集人数:第 9 学年(中学3年)、第 10 学年(高校 1 年)

出願期間:2010 年 3 月 15 日(月)~2010 年 4 月 16 日(金)(必着)郵送のみ受付

一次結果通知発送日:2010 年 5 月 14 日(金)

試験日:2010 年 6 月 19 日(土)・20 日(日)(二次選考)

合格発表発送日:2010 年 6 月 24 日(木)

要項配布:2010 年 2 月配布

選抜方法:

- ・一次選考 = 書類選考
- ・二次選考 = 英語および日本語の小論文
- 面接 = 本人(英語と日本語)ならびに本人および保護者(親権者)

<出願資格> 一般・AO 共通

学院に入学を志願する前年の 12 月末日現在、日本国内または日本国外の学校(日本人学校を含む)で学校教育の下記の課程に在籍し、学院に入学を志願する年の 8 月末日までに同課程を修了していること。

第 9 学年への出願:学校教育の 8 年目の課程に在籍

第 10 学年への出願:学校教育の 9 年目または 10 年目の課程に在籍